【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【公開番号】特開2019-48943(P2019-48943A)
【公開日】平成31年3月28日(2019.3.28)
【年通号数】公開・登録公報2019-012
【出願番号】特願2017-173952(P2017-173952)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　9/18　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　9/232　(2006.01)
Ａ４３Ｂ　13/04　(2006.01)
Ａ４７Ｃ　27/14　(2006.01)
Ｅ０４Ｆ　13/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　9/18　ＣＥＲ
Ｃ０８Ｊ　9/232　ＣＥＺ
Ａ４３Ｂ　13/04　Ａ
Ａ４７Ｃ　27/14　Ａ
Ｅ０４Ｆ　13/18　Ｃ
Ｅ０４Ｆ　13/18　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月3日(2019.9.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
結晶性を示し、アミド系エラストマー、オレフィン系エラストマー、エステル系エラストマー、及びウレタン系エラストマーから成る群から選択される熱可塑性エラストマーと、顔料とを含む熱可塑性エラストマー組成物を含む樹脂粒子を発泡剤で発泡させた発泡粒子であって、
前記発泡粒子が、その表面に濃淡の着色領域を備える着色発泡粒子であり、
前記着色発泡粒子が、その表面を色差計にて測定した場合、下記の特性（１）を満足する濃淡を示す、発泡粒子。
特性（１）：Ｘ－Ｙ≧０．５
（式中、Ｘは着色発泡粒子の色味が濃い部分の色差の値であり、Ｙは着色発泡粒子の色味が薄い部分の色差の値である。）
【請求項２】
前記発泡粒子が、０．０５～０．５ｇ／ｃｍ^{3}の嵩密度を有する請求項１に記載の発泡粒子。
【請求項３】
複数の請求項１又は２に記載の発泡粒子の融着体から構成された発泡成形体。
【請求項４】
前記発泡成形体が、建築資材、靴の部材又は緩衝材として用いられる請求項３に記載の発泡成形体。